

## ワーク巻頭：はじめに

### ワークを始める前に

こんにちは。

きゅうに“こんにちは”と呼びかけられて驚いた人もいるかも  
知りません。私は三好といいます。このワークを作った者です。  
私は、いつもは「葛西ことばのテーブル」ということばの学習室で  
先生をしています。



どうも。  
三好です。

でもときどき、このようなワーク（勉強するための教材）を作っています。  
私は、ことばのテーブルと一緒に勉強をしている人たちとは日々顔を  
合わせ、話をしていますが、書店や通販でこのワークを貰われて、  
これから始めようとしている皆さんとは、直接会うことができません。



だから今回は、この“ワークを始める前に”という文章を通して、皆さんに  
この教材についての説明をしてみたいと思います。

『おはなし読解ワーク上級編：説明文集』は、いろいろな事柄をテーマとした  
説明文を集めた読解問題集です。

読解というのは、文字を読んでその意味を理解することですが、このワークは  
読解問題ということで、文章を読んだ後に、その内容について、問い合わせ（質問）に答  
える形になっています。また、この問題集に収められている文章と問題は、私  
が作ったものです。内容のほとんどは、私自身が経験をしたり、本を読んで知っ  
たり学んだりしたことを、いくつかのテーマごとにまとめています。（ワークをパ  
ラパラとめくってみて、もし関心のあるものがあれば、まずそのお話をから読んで知  
らってもいいと思います。）

そうしてお話を読んだ後、いくつかの問い合わせ（解答を書いて）もら  
います。解答については、巻末（本のいちばん最後の所）に解答例が載せて  
あります。自分の書いた答えと同じか違うかを、確認してみてください。

でもこのワークのいちばんの目的は文章を読むことです。読んで内容に興味  
を持ち、またほかの文章を読んでみようか、と思ってもらえればと思います。  
ワークを楽しく読み進めもらえれば、何よりです。



\*あなたは、いま関心を持っているものがありますか。

もしあれば、どういうきっかけで、関心を持つようになったのですか。

ことばのテーブル

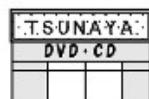
# 第1話：「お菓子の話のはなし」問題0

お菓子の話のはなし(0)

## はじめに

図書館やレンタルビデオ店で、本や映画をよく借ります。

だいたいは、行ってからそこに並んでいるものを見て決めるのですが、面白そうな本やDVDがたくさんあって、いつも迷ってしまいます。



そんなときは、「将棋」がテーマの作品を選ぶようにしています。

自分自身が将棋をするのが好きということもあります、将棋の対局シーンや、そこへ到るまでのドラマに、とても面白さを感じるからです。

でももし、借りるものが童話や絵本だったら、今回のテーマである「お菓子」が出てくる物語を選びます。やはり将棋と同じで、私自身がお菓子が大好きで、いつも食べているからです。ただ自分で作ることはないので、このおいしいお菓子はいったいどうやってできたのだろう、といつも思います。お菓子の物語には、そのお菓子を作るようすも描かれていることが多いので、そういう点でも満足できるのです。



でも、「お菓子より自分は動物の話が好き」という人もいるでしょう。

「いやいやNHKの大河ドラマのような歴史物が一番」という人や、「何といってもスポーツの話がいい」という声も聞こえてきそうです。

それがどんなものであれ、好きなテーマを持つということは、鑑賞をより広げるための、いい方法なのではないかと思っています。ひとつの作品を鑑賞して面白かったら、同じテーマの別の作品を、また読んだり観たりしたくなります。それを繰り返すうちに、だんだんと知識が増えて、歴史であれ、スポーツであれ、作品をより深く理解し、楽しむことができるようになるのではないかと感じています。



生活の中で、趣味や娯楽を持っている人は、まずは

それについての本や映画に触れてみてはどうでしょうか。

※あなたの好きな本や映画には、どんなものがありますか。

# 第1話：「お菓子の話のはなし」問題1

## お菓子の話のはなし(1) アイスクリーム

アイスクリームは、牛乳に、砂糖や卵、香料を加えて凍らせたもの。固いものはアイスキャンディー、柔らかいものはソフトクリームとも呼ばれます。

このアイスクリームが登場するのが、安西水丸作『おばけのアイスクリームやさん』という絵本です。

おばけのぼんちゃんは、森のアイスクリームやさん。

ウサギが、アイスを買いにやってきました。ぼんちゃんは、

コーンにのせたアイスを渡します。でもなんとそのアイス、

うさぎの形をしています。つぎにきたネコには、ネコの形の

ねこちゃんアイス。サルには、サルの形のおさるくんアイス。そしてゾウに

は、ちょっと大きめのぞうさんアイス。かわいいアイスをもらって、

動物たちはうれしそう。みんなの笑顔を見ていると、読んでいる

こちらまでウキウキしてくる楽しい絵本です。

作者の安西水丸さんは、イラストレーターであり漫画家でもあります。この絵本のほかにも、『がたんごとんがたんごとん』など、シンプルな絵と色で描かれた楽しい絵本をたくさん作っています。お菓子が出てくるお話も多く、『おさるのケーキやさん』などの作品があります。



著者  
安西水丸  
出版社  
教育書画



1 アイスクリームは、どんなものですか。

2 ぼんちゃんは、ネコにどんなアイスを作ってあげますか。

3 安西水丸さんの絵本には、ほかにも、どのような作品がありますか。

## 第2話：「オノマトペのオーケストラ」問題1

### オノマトペのオーケストラ（1）

### 風の音のオノマトペ

風の音を表現するオノマトペには、どのようなものがあるでしょうか。いちばんよく使われるのは、ヒューヒューのような気がします。もう少し風が強いときは、ヒの音をピにかえて、ピュー・ピューでしようか。パピブペボの音はハ行の音よりも、強い力が加わっている感じが強いときも、強い力が加わっている感じを人に与えるようです。「ピュー・ピュー」北風が吹く。もっと緩やかな風のときは、サヤサヤ、ソヨソヨなどのことばが使われます。優しい春風に使われる表現です。「サヤサヤと風が吹く」。何だか居眠りしそうです。



草を置く音は、山の中の農家の座敷で風の音を聴いた風景がなびいている様子を描くことで、目に見えない風を感じることができます。

さきすぎていくその音を聞いていると、淋しくなりました。ザー、ザー。林を揺らし吹くこの音が胸に沁み込んでしまった。

1 パピブペボの音は、ハ行の音よりも、人にどんな感じを与えますか。

2 緩やかな風のときは、どのようなことばが使われますか。

3 絵の場合、風は、たとえば、どのように表現されますか。

4 山の中の農家で聴いた風は、どうな音でしたか。

## 第3話：「お知らせをよもう」問題1

お知らせを読もう①

### 「世界の昆虫展」のお知らせ

会場 国際昆虫博物館 (JR豆岡線 噴木駅 徒歩15分)



期間 2032年8月1日(日) ~ 8月31日(火)



入館料 一般 1300円 高校・大学生 800円  
小学生・中学生 500円 \*乳幼児は無料

休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は、翌日の火曜日が休館)

開館時間 10:00~18:00 ※金曜日のみ20:00まで開館

★南アメリカや東南アジア原産の珍しい昆虫400種類を公開します。

★昆虫の人工翅をつけての飛行体験も楽しめます。



1 国際昆虫博物館は、どこにありますか。

2 中学生1名と小学生1名で行った場合、入館料はいくらになりますか。

3 金曜日の開館時間は、何時から何時までですか。

4 この昆虫展では、どんな昆虫が公開されますか。

ことばのテーブル

## 第4話：「日本と世界の年中行事」問題1

\*ページ横向き

日本と世界の年中行事 (1)

### ユッカヌヒー

旧暦5月4日は、沖縄ではユッカヌヒー（4日の日）と呼ばれます。

沖縄では、このユッカヌヒーになると、子どもにイームリンを買い与える習慣がありました。イームリンとは、沖縄のことばで「おもちゃ」。もともとは、「いいもの」という意味です。

子どもの成長を祈って与えられたイーリムンを、子どもはいつまでも大切にしたと言います。

引くとチンチンと音の鳴る「ちんちん馬」や、船・汽車などの乗り物（沖縄にもむかしは鉄道が走っていました）、お面など、竹や木や粘土、紙などで作られた素朴なおもちゃが、

年に一度の玩具市に並べられます。目を輝かせてそれを見つめている子どもたちの姿が、目に浮かぶようです。

第二次世界大戦という大きな戦争で、沖縄は人も町も大きな被害を受けました。古都那覇の佇まいも鉄道も失われてしまいました。汽車が走っていた頃の沖縄に、一度行ってみたかったと思います。

ちなみに、ユッカヌヒー=よっかのひ、イームリン=いいもの、からわかるように、沖縄のことばでは、オ列の音が、ウ列の音に変わります。またエ列の音はイ列の音になります。だから、米（コメ）は、沖縄ことばでは「クミ」、嫁（ヨメ）は「ユミ」という発音になります。



1 旧暦5月4日は、沖縄では何と呼ばれていますか。

3 イームリンのおもちゃには、どんなものがありましたか。

2 イームリンには、どんな祈りがこめられていますか。

4 沖縄のことばでは、フネ（舟）はどんな音になりますか。

ことばのテーブル

## 第5話：「みんなのスピーチ」問題1

みんなのスピーチ①

あゆみさんのスピーチ



あゆみ

旅行に行った話をします。  
このまえの連休のとき、わたしは家族と一緒に泊二日で名古屋に旅行に行きました。目的は食べ歩きです。名古屋にはおいしいものがたくさんあると聞いていたので、とても楽しみにしていました。新幹線に乗って名古屋駅に着いてから、まずお昼ごはんに名古屋名物の天むすを食べに行きました。天むすは、エビの天ぷらがごはんに包まれている食べもので、とってもおいしかったです。そして夜は味噌煮込みうどんを食べました。つぎの日は、名古屋城を見学したあと、「ひつまぶし」というウナギのごはんを食べに行きました。そして夕方には、きしめんを食べました。どれもみんなおいしくて大満足の旅行でした。以上です。何か質問はありますか？

おみやげは何か買いましたか？



つよし

名古屋名物の「ういろう」という羊羹を買いました。

1 名古屋への旅行の目的は何でしたか。

2 天むすは、どんな食べものですか。

3 あゆみさんは、おみやげに何を買いましたか。

# 第6話：「二つのものを比べてみよう」問題1

\*ページ横向き

二つのものを比べてみよう（1）

## 〔パンダ〕と〔コアラ〕

◎パンダとコアラは、その愛らしさで日本の動物園でも大人気だ。二つの動物を比べてみよう。

### 〔パンダ〕



◎動物の中での分類…食肉目クマ科

◎寿命…約20年

◎体長…120cm～150cm / 体重…85kg～150kg

◎生息地…中国南西部

◎主食…竹、笹、タケノコなど

◎名前の由来…ネパール語で「竹を食べるもの」

◎体色…目・耳・肩・手足が黒で、それ以外はクリーム色

◎日本での最初の飼育…1972年に東京都の上野動物園に  
中国より2頭のパンダが贈られ飼育が始まった。

### 〔コアラ〕



◎動物の中での分類…前歯目コアラ科

◎寿命…13～18年

◎体長…60～85cm / 体重…4～15kg

◎生息地…オーストラリア

◎主食…ユーカリの葉。＊水はほとんど飲まない

◎名前の由来…アボリジニーの言葉で「水を飲まない」

◎体色…背中が灰色で、腹が白

◎日本での最初の飼育…1984年に東京都、名古屋市、鹿児  
島市の動物園で同時に飼育が始まった。

★パンダもコアラも絶滅危惧種に指定されている動物だ。現在、中国とオーストラリアで保護活動が続けられている。

1 パンダの主食は何ですか。

2 「コアラ」という名前は、何に由来していますか。

3 パンダの体の中で黒い部分は、どこですか。

4 日本での飼育が早かったのは、どちらの動物ですか。

## 第7話：「街で見つけた不思議なもの」問題1

\*ページ横向き

街で見つけた不思議なもの（1）

### ふしぎな貼り紙



院多喜部大越川

左の写真に写っているもの、いったい何でしょう？ これは、街を歩いているとき、家の玄関の戸に貼られているものです。近づいて見てみると、不思議な絵の下には、「川越大師喜多院」という文字。どうやらそのお寺のお札のようです。

それにしても、この動物のような妖怪のようなものは何でしょうか。調べてみると、これは元三大師という偉いお坊さんであることがわかりました。ではなぜ、そのお坊さんがこのような姿になっているのかというと、それにはつぎのような言わがあるようです。

元三大師は、平安時代のとても優れたお坊さんでした。ある日、大師のもとに疫病神がやってきて、あなたにいまから取り憑きます、と言いました。大師が小指を差し出すと、

1 元三大師は、いつの時代の人ですか。

2 大師が小指を差し出すと、どうなりましたか。

とたんに苦痛に襲われましたが、大師が心を静めて指を弾くと疫病神は去って行きました。その後大師が鏡に向かうと、角の生えた夜叉（鬼）の姿が映っています。大師はその姿を弟子に描き写させて、その絵を置いておくと疫病神はしづかなくなりました。それ以来、人々はこの鬼の姿を「角大師」と呼んで、疫病神退散のお札とし、家の戸に貼るようになったのだそうです。

後日、わたしも川越市にある喜多院にお参りをして、このお札をいただいてきました。

角大師のお札は、右の写真的豆大師と

呼ばれるお札と2枚1組になっていました。

豆大師は、時代が下り江戸時代の大師信仰の

逸話に由来するお札で、こちらも魔除けや

災難除けに御利益があるそうです。



院多喜部大越川

3 大師が鏡に向かうと何が映っていましたか。

4 豆大師のお札には、どんな御利益がありますか。

## 第8話：「料理のレシピ」問題1

料理のレシピ①

### 焼きそば

いつもはインスタントのカップ麺のものを食べている焼きそば。  
今回は、自分で作ってみました。



[材料] (2人分) 豚肉: 100g 中華めん: 2玉 キャベツ: 葉2枚 玉ねぎ: 4分の1個  
もやし: 手て2つかみ にんじん: 4分の1本 ピーマン: 1個  
ウスターーソース: 大さじ3 醤油: 小さじ2 サラダ油: 適量

#### 料理の手順

- 野菜は洗って、キャベツとピーマンは一口大の大きさ、玉ねぎは薄切り、にんじんは短冊切りに切る。豚肉は、一口大に切る。
- 火をつけ、フライパンに油を引き、中火にして豚肉を炒める。
- 肉の色が変わったら、にんじん、玉ねぎ、ピーマン、キャベツ、もやしの順に野菜を入れて、しんなりするまで炒める。
- 3のフライパンに麺を入れ、ほぐしながら炒める。
- ソースと醤油を入れて味を絡めたら火を止め、お皿に盛って完成。

《もう一工夫》 青のりや、紅ショウガをかけると美味しさアップ！



麺をほぐしながら炒めているところ



完成した焼きそば

#### 【作ってみた結果と感想】

まず材料をスーパーに買いにいったのですが、青のりが売っていませんでした。また、玉ねぎとピーマンは1個でよかったです、どちらも5個ひと袋のしかありませんでした。調理は、完成まで約25分。しんなりするまで、という加減がよくわからず、野菜が焦げてしましました。でも食べてみたらGOOD！いつものインスタントとは、ひと味違う美味しさでした。

1 2人分の場合は、もやしは、どれくらい使うですか。

2 豚肉は、どのくらいの大きさに切りますか。

3 野菜は、どんな順番に炒めますか。

4 麺は、どうやって炒めますか。

# 第9話：「この人を知ろう」問題1

## この人を知ろう(1)

## ウォルト・ディズニー



年表

1901年	アメリカ合衆国シカゴ市で生まれる。
1921年	漫画映画制作の仕事を始める。
1932年	ミッキー・マウスの創造に対してアカデミー賞を受ける。
1937年	初の長編映画『白雪姫』を公開。
1955年	ロサンゼルスに遊園地ディズニーランドが開園する。
1966年	65歳で亡くなる。

ウォルト・ディズニーは、1901年(明治34年)に、アメリカで生まれました。子どものころから絵が上手だったディズニーは、19才のときに友人のアブ・アイワーラスといっしょに、アニメーションの映画を制作する会社を作ります。この会社はすぐに、つぶれてしまいますが、その後、カリフォルニア州のハリウッドに移り、『不思議の国のアリス』シリーズの映画を作って成功します。

そして23才のときに、ネズミのミッキー・マウスを主人公にした映画シリーズが、世界中で大ヒットします。それからは、ドナルド・ダックやダンボなど、数々のキャラクターが、ディズニー映画から飛び出してゆきます。

ディズニーの素晴らしいところ、それは、成功を収めたあとも新しいことに挑戦し続けたところです。アニメーションで初のトーキー(音の出る映画)<sup>(1)</sup>も、初の長編映画<sup>(2)</sup>も、まわりの人たちから、うまくいくはずがない、と言われながら、工夫と努力で優れた作品を作りあげました。

アニメーションだけではありません。ディズニーは、自然をテーマとした数多くのドキュメンタリー映画を製作し、進みつつあった環境破壊への警鐘を鳴らしました。

1955年、ディズニーは長年の夢だった、子どものための遊園地「ディズニーランド」を、ロサンゼルスのアナハイムという町に建設します。

ディズニーは、65歳で亡くなりましたが、彼の作ったアニメーションは、いまも世界中の人に愛されつづけています。



(1) 著のトーキー: 1928年公開『蒸気船ワイリー』上映時間8分 (2) 著の長編映画: 1937年公開『白雪姫』上映時間1時間28分

1 ディズニーは、何のシリーズの映画を作って、成功しますか。

2 「ディズニーランド」は、どこに建設されましたか。

3 ディズニーの素晴らしいところは、どんなところですか。

# 第10話：「広がることば」問題1

\*ページ横向き

## 広がることば（1）

## スポーツのことば

新聞のスポーツ欄を読んだことがありますか。新聞は読まないけれど、ネットニュースはよく見る、という人も多いかもしれません。たとえば野球だったら、こんな記事をよく目にします。

試合速報 《毎日デビルス対東海パドレス》  
今季、ここまでパドレスに10連敗中のデビルスは、エースの豊田を立て、背水の陣で臨んだ。試合は、初回、立川の先頭打者ホームランでデビルスが先制し、さらに3回、日野の走者一掃のツーベースで3点を挙げリードを広げた。

パドレスも5回に追撃の火蓋を切る。四谷のソロホームランに続き、7回には神田がツーランホームランを放ち1点差に迫った。9回、デビルスは満塁のピンチで抑えの切り札、中野を投入。中野が代打の小金井を三振に討ち取り、薄氷の勝利を挙げた。

先制、追撃、火蓋、討ち取る…。もしこの記事を、野球を知らない昔の人が読んだら、きっと戦争の話だと思うのではないかでしょう。これらの戦いに関する語句が多いのは、スポーツが勝ち負けを争う競技であるが故ですが、それを伝える文章の大きな特徴になっています。完勝、辛勝、大敗、惜敗、競り勝つ、など、勝ち負けの表現にも事欠きません。

またスポーツ記事は、ことわざや故事成語、慣用句の宝庫でもあります。先ほどの記事の中では、背水の陣、火蓋を切る、薄氷、などのことばです。

背水の陣とは、退くことができない状況に自らを置き、決死で臨む、という意味ですが、川を背にして戦ったという中国の故事に由来したことばです。

スポーツ記事には、ほかにも、庄巻、敗軍の将、完膚なきまでに、などさまざまな表現が出てきます。

どれも難しいことはですが、スポーツ好きにとっては、ごく身近なもの。その競技に対する知識があり、ことばが使われる場面を何度も経験するうちに、意味がわかるようになります。

1 スポーツを伝える文章の大きな特徴とは何ですか。

2 勝ち負けの表現には、どのようなものがありますか。

3 「背水の陣」とは、どのような意味ですか。